

生涯学習だより

安曇野市教育委員会

穂高公民館成人学級 春の美術館めぐり

春風をきき、美術鑑賞の日を楽しんで過ごしませんか。

【行き先】

■ 穂高公民館 (山梨県穂高町)
日本を代表する女性画家たちの作品、安井曾太郎ほか文化勲章受賞有名画家の作品が見られます。

■ 山梨県立美術館 (山梨県甲府市)

ミレー、モローなど印象派の作品、新収蔵作品、企画展などたくさん作品を鑑賞します。

■ 日時 3月18日(火)

午前8時30分～午後4時予定

■ 集合場所 穂高公民館

■ 対象 市内在住の成人

■ 参加料 2,200円

(入館料・昼食代・資料代など)

■ 定員 30人(先着順)

■ 講師 征矢野久さん

■ 申込方法 3月4日(火)午前8時30分から受付開始。穂高公民館窓口へ参加費を添えてお申し込みください。申し込みは1人につき1人分までです。

■ 穂高教育課生涯学習係

(TEL 82・5970 FAX 82・3990)



豊科公民館 教養講座 初心者デジタルカメラ講座

デジタルカメラ初心者、またこれから始めたい皆さんを対象に基礎的な操作や状況に合った写真の撮り方を学びます。昼の部、夜の部、都合の良い時間帯を選べます。

■ 開催日

昼間の部 (全2回)

第1回 3月4日(火)

第2回 3月6日(木)

夜間の部 (全2回)

第1回 3月4日(火)

第2回 3月7日(金)

■ 時間

昼間の部 午後2時～4時

夜間の部 午後7時～9時

■ 講師

板持誠さん

■ 対象者 市内在住のデジタルカメラ初心者。

※デジタルカメラがない人への貸し出しもできます。

■ 場所 豊科公民館大会議室

■ 定員 各部10人(先着順)

■ 受講料 400円

■ 申込方法 2月26日(火)から受付開始。豊科公民館窓口へお申し込みください。定員に

なり次第締め切ります。

■ 豊科公民館

(TEL 72・2158 FAX 73・6401)

■ 豊科郷土博物館

第24回白鳥写真展作品募集

安曇野の冬の風物詩・白鳥をテーマとした写真作品を公募します。作品は4月に展示します。郷土の冬鳥の生態、環境などを感じ取れる作品展にぜひご応募ください。

■ テーマ 今シーズン市内で撮影した白鳥および白鳥に関する写真。

■ 受付期間 3月2日(日)～29日(土) 豊科郷土博物館窓口へ直接お持ちください。

■ 展示期間 4月3日(木)～20日(日) (月曜休館)

■ サイズ 四つ切り以上。額かパネルに入れ、ヒモをつけること。

■ その他 応募点数は1人2点以内。出品料は無料です。審査などはありません。詳しくはお問い合わせください。

■ 豊科郷土博物館

(TEL FAX 72・5672)

田淵行男記念館 企画展・特別展のご案内

失われた風景 ～写真が語る安曇野～

ナチュラリスト・田淵行男が愛した安曇野の自然を見つめる企画展です。戦後、観光開発・農業生産増進という方針のもと、安曇野のかけがえのない自然は破壊されていきました。今回展示する作品の中には、すでに私たちが失ってしまった風景も写し出されています。

■ 会期 3月11日(火)

～6月29日(日)

■ 休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日



「野の仏」 撮影・田淵行男

安曇野鳥景 ～中島泰樹写真展～

安曇野出身の写真家・中島泰樹氏は、20年以上にわたり豊科の白鳥湖に飛来するコハクチョウの撮影を行い、安曇野の自然環境を見つめ続けています。写真展を通じて、越冬する水鳥たちを取り巻く安曇野の景観や自然環境などをご覧ください。

■ 会期 2月26日(火)

～3月9日(日)

【両展共通】

■ 会場 田淵行男記念館

■ 観覧料 大人300円、小学生200円(団体割引有)

■ 田淵行男記念館

(TEL 72・9964 FAX 72・9964)



(c)Nakajima Yasuki
撮影・中島泰樹

豊科近代美術館 春を呼ぶコンサート

豊科近代美術館では、4月19日(土)から開催する特別展「音に恋した美術館」の事前イベントとして、恒例の春を呼ぶコンサートを開催します。「音」と「美術」の饗宴をお楽しみください。

■ 日時 3月9日(日)

午後0時30分開演
午後1時開演

■ 場所

豊科近代美術館多目的ホール

■ 入館料 観覧料は無料ですが、入館券が必要です。

(一般500円、大学・高校生300円、小中学生150円)

■ 出演

福島 優美 (マリンバ)

春山 俊介 (クラリネット)

宮下 静香 (ピアノ)

坂本 あゆみ (フルート)

■ 申し込み 不要。直接会場にお越しください。ただし、当日会場が満員になり次第、締め切らせていただきます。

■ 豊科近代美術館

(TEL 73・5638 FAX 73・6320)

高橋節郎 寄贈作品 望Ⅱ 2004年制作

昨年、漆芸家の故・高橋節郎さんの作品226点を寄贈いただきました。その内の1点を紹介します。「望Ⅱ」は、日本現代工芸美術展という大きな展覧会に出品した作品です。高橋節郎は、2003年から亡くなる2007年まで、同展に「望」という題名の漆立体作品のシリーズを発表し続けました。いずれも人物を思わせるユーモラスでかわいらしい形の像で、台座とセットになり赤と黒の漆で塗られています。それ以前にも立体作品は多く制作していますが、山や森、木などの自然がテーマでもっと抽象的な形をしています。それらと比べると「望」は作者の遊び心と暖かいまなざしを感じることができます。

■ 安曇野高橋節郎記念美術館 (TEL 81・3030 FAX 82・0551)

